

第38回「これからの自治会を考える」検討会 議事録 9/21

(1) 概要

日時	令和元年年9月21日 9:00～
場所	睦会集会所
出席者	岩崎光雄 久保田和男 瀬戸信一郎 中野浩 柳澤知子 山野邊國雄 横山博行 伊藤

(2) 議事

議 題

・自治会アンケート結果より「お助け隊」「見守り隊」のボランティア募集について

議事内容

<検討・確認事項等>

1. 睦まつりの実績

① 売り上げ

・焼きそば¥20610(支出¥32948)、たこ焼き¥10650(¥10113)、つまみ¥2400(¥5775)、ビール90杯分¥18700(¥28000)

・昨年は自治会補助金¥65000より¥2500少なく済んだが、今年は¥25831少なく済んだ。この額に子どもイベントに補助した額に相当する。

② 問題点・改善点

・翌日のゴミ処理が少人数でやった。ゴミの分別の工夫や翌日の片付けの確認をきちんとやりたい。  
・炎天下焼きそば購入のため並ばせたことは問題で、途中から「整理券」を配ったことは良かった。来年  
・テント内に日が差し込むので、テントの位置を工夫したい。

2. 「お助け隊」「見守り隊」ボランティアの募集について

・10/7各個に配布、10/20回収

・今現在自発的に「近所の見守り」されている方にとってやりづらさがあったり、縛られると感じたり難

・買い出しは「お助け」で家での関わりは「見守り」とすると、両者の区分が難しいところがある。

・初めに「お助け隊」が実質スタートして、後に「見守り隊」が組織化していくのでは。

・はっきり分けて、ボランティアが集まったところで、具体的な内容を決めていった方が良い。

・「見守り」は365日行われるが、「お助け」は要望に応じて適宜行える。

・「見守られる人」を「見守る人」で組織化して、自治会としてできる範囲の中でやっていく。

・「お助け」しながら「見守る」ことは出来るので、分けずに一本化できるのではないか。

・「お助け」は実務的にやっていけば良い。

自治会では対応できない人についてはCSWや包括センター等に依頼していくこともあり、「見守り」には

・「向こう3軒両隣」的活動は睦ではあまりはっきりしていない。

・「定期的訪問」は断られる。デイ・ケアを依頼している方は自治会とはあまり関わりを持たない。

・文面で『定期的』は困難で、『必要に応じてお話しします』にした方が良い。

「見守り隊」を立ち上げ広報していくことは、「見守られる人」に意味を持つてくる。

・このボランティアに関して自治会役員会では反応はない。

・問題提起してどう解決していくのか。「ワークショップ」を行うことが大切です。

・台風15号の被害を受けた千葉の状況から、地域や隣近所の関わりがいかに大切かがわかる。

3. 今後の予定

・10/6役員会で内容説明 ・10/7各役員による班別配布 ・10/20各班役員に回収された「ボ

・10/28(月)15:00～プロジェクトチームによる「ボランティア参加」集約、検討 ・11/29:00～「

・世帯台帳から高齢者一覧を作成(市からの要支援者、13名、見守り者リスト、カテゴリーに分別して経

・市から街路樹伐採の状況の連絡

・「ローソン」横の階段付近に街路灯設置の予定

・15号台風による損壊については自治会としては関わらない。

次回予定 令和元年11月2日(土)9:00～

---



<敬称略>

は「睦とものわひろば」が

も「整理券」活用したい。

楽しさが生じる。

バリエーションがある。

「ランティア募集」の集約  
考える会」に報告  
(織図作成)

---

--